

第 109 回コンパス薬局スキルアップ勉強会

2021/11/18 木本 美帆

キッセイ株式会社

『ミニリンメルト OD25 OD50』

磯崎 裕史 様

場所：コンパス薬局瀬谷

参加者：相原、小西、喜多、木本、島崎、菅野、吉川、常見、塩谷

夜間、排尿のために 1 回以上起きなければならない症状を夜間頻尿という。夜間頻尿は、日常生活において支障度の高い症状である。糖尿病、高血圧、心疾患、腎機能障害、睡眠時無呼吸症候群などの病気が原因となる。他に水分を摂ることで血液がサラサラになり、脳梗塞や心筋梗塞が予防できると信じて寝前や夜間にたくさんの水分をとりすぎて頻尿になっている場合もある。

デスマプレシンはバソプレシンを元に造られた薬剤で、腎集合管における V2 受容体刺激作用により血管内への水分の再吸収を亢進させることで尿量を減少させる作用があり夜尿症や夜間頻尿の治療に用いられる。

〈効果・効能〉

男性における夜間多尿による夜間頻尿

〈用法・用量〉

成人男性には、通常、1 日 1 回就寝前にデスマプレシンとして 50 μ g を経口投与する。

〈警告〉

本剤の抗利尿作用により過剰な水分貯留に伴う低ナトリウム血症を引き起こす可能性があり、また、デスマプレシン酢酸塩水和物を使用した患者で重篤な低ナトリウム血症による痙攣が報告されていることから、患者及びその家族に対して、水中毒（低ナトリウム血症）が発現する可能性があること、水分摂取管理の重要性について十分説明・指導すること。

〈禁忌〉

1. 低ナトリウム血症の患者又はその既往歴のある患者 [低ナトリウム血症が増悪又は発現するおそれがある。]
2. 習慣性又は心因性多飲症の患者（尿生成量が 40mL/kg/24 時間を超える） [低ナトリウム血症が発現しやすい。]
3. 心不全又はその既往歴あるいはその疑いがある患者 [低ナトリウム血症が発現しやすい。また、心不全が増悪又は発現するおそれがある。]
4. 利尿薬による治療を要する体液貯留又はその既往歴のある患者 [低ナトリウム血症が発現しやすい。]
5. 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群の患者 [低ナトリウム血症が発現しやすい。]
6. 中等度以上の腎機能障害のある患者（クレアチニンクリアランスが 50mL/分未満）
7. 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者
8. チアジド系利尿剤、チアジド系類似剤、ループ利尿剤を投与中の患者
9. 副腎皮質ステロイド剤（注射剤、経口剤、吸入剤、注腸剤、坐剤）を投与中の患者

〈重要な基本的注意〉

本剤投与中に低ナトリウム血症による水中毒症状を来すことがあるので、以下の点に注意すること。

飲水制限を行い、点滴・輸液による水分摂取量も考慮すること。

本剤投与開始前に血清ナトリウム値の測定を行い、投与の適否を判断すること。

本剤投与中は投与開始又は増量から1週以内（3～7日）、1ヵ月後、及びその後は定期的に血清ナトリウム値の測定を行い、血清ナトリウム値が急激な低下を認めた場合や目安として135mEq/L未滿を認めた場合には、投与を中止すること。

本剤投与中は定期的に患者の状態を観察し、水中毒を示唆する症状（倦怠感、頭痛、悪心・嘔吐等）が認められた場合には、直ちに投与を中断し、血清ナトリウム値を測定すること。

〈考察〉

ミニリンメルトは規格によって適応が違い、25/50 μ gの適応は男性における夜間多尿による夜間頻用である。夜間頻尿の治療には患者さんへの生活習慣の改善指導も重要であり、特に水分摂取管理が重要である。そのためミニリンメルトは水なしでも服用できるよう吸水性や崩壊性の高い錠剤となっている。このことから投薬の際には服用時には水で濡れた手で取り扱わないことやPTPシートから取り出すときには注意が必要であることを投薬時に指導するべきだと考えた。

また25/50 μ gの適応は男性における夜間頻尿であり女性は適応外となることを注意する。

〈質問〉

Q：服用しにくい場合やどうしても喉が渇いて水が飲みたくなっても水分制限は守る必要があるのか

A：服用しにくい場合は口の中を湿らす程度であれば問題ないが非常に崩壊しやすく水なしでも飲み込みやすくなっている。原則水を飲むのは服用の2～3時間前までで指導していただきたいがどうしても難しい場合は医師と相談の上緩和される可能性もある。

Q：女性には効果はないのか

A：女性の夜間頻尿に適応のある国もある。日本においては臨床試験の準備段階での生活習慣指導により女性は夜間頻尿が改善されたため服用時との有意差のあるデータが取れなかった。そのため保険適応外となっている。